

図画工作科における「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を追究した授業デザイン

- 題材名 第6学年「光の形」4時間完了 立体
- 目標 光る形の美しさを味わいながら表したいことを見付け、光を受けた材料の見え方の変化を捉えながら表し方を工夫して、美しく見える形をつくることができるようにする。
- 着目させたい造形的な特徴 形の方向感、奥行き、バランス、色の鮮やかさ など

STEP1

光る形の美しさや、見え方の変化による面白さを捉える。 **発想**

学習の個性化

- 光源を、白いスポンジや梱包シートに当てて、見え方の変化を捉える。
- 「切る」「くり抜く」「ちぎる」など、行為を言語化しながら、様々な光の形を生み出す。

協働的な学び

- できた光の形を友達と見合ったり、光源を当て合ったりして交流する。
- ▷ 行為を言語化して全体で共有したり、試してできた形に注目して友達と交流させたりすることで、多様な表現を引き出したり、見え方の変化による面白さに気付かせたりする。

STEP2

光り方を確かめながら、形を削ったり組み合わせたりして表す。 **構想** **技能**

学習の個性化

- 課題「自分だけの光の形を見付けよう」を基に、構想する。
- 木工用接着剤、セロハンテープ、ストローなどを接合のための材料として選択し、材料を組み合わせる。
- 段ボール箱を使用したり、LEDライトやタブレットの画面など様々な光を当てたりして、光り方を試しながら表現を追求する。

指導の個別化

- 「心情」「時間」「音」の言葉を提示し、イメージづくりの補助にさせるとともに、作形の方向感、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどの工夫につなげることができるようにする。
- 複数の用具や場を用意しておくことで、一人一人の思いに合わせて製作できるようにする。
- イメージは表す中で変わってもよいこととする。

STEP3

互いの作品を鑑賞し美しさや見方の多様性を感じ取る。 **鑑賞**

学習の個性化

- 造形的な特徴を基に捉えた互いの作品のイメージを「心情」「時間」「音」のいずれかの言葉で表し、カードに書いて作品の近くに置く。

協働的な学び

- 自分の表現に対する友達の感じ方を知り、自分のイメージや作品と比べる。
- ▷ 幻想的な音楽を流し、光の美しさを感じ取る雰囲気高める。
- ▷ 「うきうき」や「夕暮れ」など、自分が抱いたイメージを抽象的な言葉で表したり、作者の意図と比べたりすることで、作品の美しさや見方の多様性を感じ取らせる。

STEP4

学びを振り返り、次につなげる。 **知識** **態度**
次な題材例
中1 [折って、切って、巻いて]

学習の個性化

- 表現の工夫を振り返り、自分の作品の美しさや友達の感じ方などを基に作品に題名を付ける。
- ロイロノートや振り返りシート等を活用し、本題材で着目すべき造形的な特徴が理解できたか記入し、学習の履歴とする。

指導の個別化

- 子ども一人一人の学習履歴から、学びの進捗を確認・把握し、次時に向けたアドバイスをします。